



図書館だより

目次

創立120周年の新図書館へ向けて：

現図書館50周年にあたり	—佐藤 和人	1
これからの大学図書館を考える	—大谷 康晴	2
日本女子大学図書館関係略年表(2004.4~2014.3)		4
統計で見る図書館サービスの歩み：開館50年目を迎えて		8
平成26年度夏期スクーリング開館について	—中澤 啓子	12



新しい4階閲覧室窓より泉プロムナードをのぞむ

創立120周年の新図書館へ向けて：現図書館50周年にあたり

佐藤 和人

本学の図書館（目白）は創立60周年記念事業の一つとして建設されたものです。1964年6月23日に成瀬仁蔵先生生誕の日を期して開館されましたが、全館開架式を採用し当時としては先駆的・画期的な図書館であったのです。正面玄関に刻まれたシンボルともいえる‘Veritas Via Vitae’の言葉がどのような意味をもつかは『図書館だより』146号を参照し想いを巡らせていただきたいと思います。さて現在、学園は創立120周年に向けて、Vision120のもとに教育改革プランを進めています。教育改革は日本女子大学の未来へ向けてのハードとソフト両面からの改革であり、図書館もその中の大きな柱です。創立60周年記念事業として建設された図書館が創立120周年を機に新たな姿に生まれ変わる予定であり、時の流れを実感するとともに本学の歴史の中における図書館の果たしてきた大切な役割をあらためて感じるどころです。現在、Vision120における図書館プランについていろいろな角度から検討がおこなわれていますが、次の50年における図書館には何が求められるのでしょうか？ 近年、図書館に求められる機能として学修支援及び教育活動への直接の関与が挙げられています。具体的にはラーニングコモンズ、レファレンスサービス、情報リテラシー教育などの例が示されています。大学教育において、より自発的な学習や実践の必要性が重視され、学生の主体的な学修を支援する役割が期待されています。一方、米国でも 1. 研究者の活動に即した支援、 2. Web 環境を含めたコレクション構築、 3. インターネット環境への対応、 4. 情報リテラシー教育への関わり、 5. ラーニングコモンズなどが図書館機能として示されています。世界における情報環境の変化は著しく、電子ジャーナルの普及など電子化の進展と学術情報流通の変化にはめざましいものがあり、図書館も否応なくその波に巻き込まれています。一方、従来の紙媒体としての印刷物や学術図書のコレクション構築は図書館の変わらぬ重要な機能です。この両面性とも言えるような役割は同時に図書館に欠くことができないのも現状です。また機関リポジトリなど教育研究成果の発信と説明も図書館に求められています。図書館の機能が時代とともに変わっていくのは必然ですが、限られたスペースと人員と資金の中で新たな図書館機能の構築・維持には自ずと制限が生じ、発想の転換と価値観の見直しを図らざるを得ないとも実感しています。しかし、学術情報基盤としての即物的な側面のみでなく、大学という場における図書館の果たす役割の重みは変わりません。自学自動を実践する基礎力形成のために、学生達が主体的にいきいきと学びに取り組める場として、日本女子大学の文化を受け継ぎ、次世代につながる新図書館の建設の実現を楽しみに待ちたいと思います。

(学長)

これからの大学図書館を考える

大谷 康晴

1. はじめに

大学図書館は、大学設置基準36条1項3号に記載されている大学に備えなければならない施設である。同基準では38条が図書等の資料及び図書館に関する条項となっており、ここでは「学部の種類、規模等に応じ、図書、学術雑誌、視聴覚資料その他の教育研究上必要な資料を、図書館を中心に系統的に備える」(38条1項)とされている。大学にとって極めて重要な施設という位置づけが与えられてきたとあってよいだろう。そもそも欧米においては、大学図書館が「大学の心臓部」と呼ばれている。実際伝統ある大学では大学を象徴する建造物として図書館が取り上げられることも多い。

従来のがわが国の大学図書館は、「資料の倉庫」と軽い扱いをされることも多かった。しかし、近年では大学図書館が新聞の特集で取り上げられるなど、認識が変わりつつある。情報通信技術の進展、資料のデジタル化、高等教育の変換に対応した変化と、大学図書館は、さまざまな種類がある図書館の中でもここ20年の中で最も変貌を遂げた種類といえよう。

このような前提を踏まえ、本稿では限られたスペースではあるが、現在の大学図書館の状況について簡単に解説していきたい。新しい大学図書館に対する関心を少しでも高めていただければ幸いである。

2. 大学図書館の機能と課題

教科書では、大学図書館の主要な機能として、1)学習支援(大谷注:現在文部科学省では「学修支援」としている。以下、学修支援と表記)、2)教育機能、3)学術研究支援と成果の発信機能、4)レファレンス機能、5)文化的機能と地域貢献を挙げている¹⁾。そして、驚くべきことにこの20年の間でここに挙げた多くの機能について、大学図書館は対応を迫られ、変革している。

1)の学修支援は、高等教育が知識の伝授から学習者の「創造性開発」へとシフトしている中で、大学図書館では自ら学んでいくための環境を提供することが求められている。この課題に対応したものとして登場したのがラーニングコモンズである。ラーニングコモンズは「複数の学生が集まって、電子情報資源も印刷物も含めた様々な情報資源から得られる情報を用いて議論を進めていく学習スタイルを可能にする「場」を提供する²⁾」というものであり、アメリカの大学図書館がルーツになっている。わが国では大学生の学習時間が少なく、学生が自学自習を励行できる環境づくりを模索していたこともあり、近年多くの大学図書館でラーニングコモンズが取り入れられている。

次に2)の教育機能であるが、教員の授業展開の支援だけではなく、文献利用指導等図書館自身が学生を指導することも大幅に増えている。3)の学術研究支援と成果の発信機能として近年発達したものとして、機関リポジトリが挙げられる。機関リポジトリは「所属研究者の知的生産物を電子的に収集、蓄積、提供するシステム、またそのサービス³⁾」であり、本学でも4月より運用を開始している。

5)の文化的機能と地域貢献としては、図書館が所蔵するコレクションのデジタル化あるいは地域開放が進んでおり、大学に所属しない多くの人々が図書館の情報資源を活用できるようになっている。

3. 大学図書館に関する誤解

このように近年大学図書館は急速に変貌し、多様なニーズに対応しようと懸命の努力を行っている。しかしながら、こうした事情がなかなか理解されることがない。デジタル化によって紙の資料が速やかになくなるという乱暴な意見が表明される時がある。こうした意見は筆者が図書館情報学の大学院生であった90年代に研究室でいわれていたことは事実である。その頃には図書館というものを研究対象とする最後の世代になるかもしれないと思ったこともある。しかし、こうした極端な論調は21世紀を迎えるまでに急速に収まり、それほど単純な話ではない、というのが共通認識となっている。

確かに自然科学系の情報資源は急速にデジタル化している。自然科学系の情報利用は最新の生産物だけに着目していけばよいという性格が強いため、領域によってはデジタル化された情報資源だけで十分という領域もあるかもしれない。

しかし、人文社会科学の場合、過去のさまざまな情報資源も含めて研究を行っていく必要がある。それは単に研究対象が古典であるというだけではなく、数十年（場合によっては数百年、あるいはそれ以上）前の研究を先行研究として参照しなければならないという学問としての根本的な性格を指している。そのように考えると人文社会科学を完全にデジタル化させるためには、これまでの全ての情報がデジタル化されることが最低条件となる（あくまで最低の条件であって十分条件には全くなっていない）。しかし、デジタル化された情報はごく一部であり、Googleも「世の中にはまだまだ情報があふれている」⁴⁾と自分たちが検索可能にした情報が一部であることを認めている。現在程度のデジタル化の状況をもって紙媒体が不要というのは、人類の知的成果をあまりに過小評価した傲慢な態度といわざるをえない。

そして、人文社会科学系の情報資源、特に日本語の情報資源はまだ紙媒体であるものが多い。デジタル化は単にスキャナーで読み取ればよいというものではない。デジタル化された資料が当たり前のように使用されるためには、著作権によって担保されてきた出版流通をはじめとする社会的制度そのものの変革が必要である。社会制度の変革は簡単な話ではない以上、デジタルが次第に優位になって行くもののみならず紙とデジタルが混在した状況は続くと考えべきである。

さらに、データベースや電子ジャーナルさえ利用できればよいという意見も時に聞かされることがあるが、現在大学において、これらの情報資源を活用できる基盤を提供しているのは図書館である。現在大学図書館は科学技術・学術審議会においてコンピュータ及びネットワークと合わせて学術情報基盤とされている⁵⁾。現代の大学図書館は大学における教育研究のインフラとして理解すべきである。

4. ラーニングコモンズについて

大学図書館の近年の活動の中でもっとも目につくのがラーニングコモンズである。ラーニングコモンズについてはグループ学習のスペースやコンピュータ利用環境が着目されることが多いが、commonsという以上、大学において学習しようとする全ての人々が利用できるものでなければならないだろう。既に見てきたように、研究領域によってそれぞれの研究者・学生が参照すべき情報資源は大きく異なる。新しいものだけではなく既存の情報資源も大いに活用して、新たな学習・研究活動を進めていくという人文社会科学のスタイルを考えると、少なくとも総合大学のラーニングコモンズは既存の情報資源へのアクセスがきちんと確保されているものでなければならない。

筆者は、ラーニングコモンズが必ず図書館でなければならないとまでは思わないが、上記の条件が確保されていないものはラーニングコモンズに該当しないと考えている。デジタルも紙の資料も十二分に活用できる環境を用意することが全ての学生に対する学修支援のあるべき姿と考える。同時に一人で静かに学習したい学生にも、複数で議論して学習したい学生にも等しくその環境を与える事が、大学と大学図書館に求められている。

1) 塩見昇『図書館概論三訂版 (JLA 図書館情報学テキストシリーズ III)』

2) 科学技術・学術審議会学術分科会研究環境基盤部会学術情報基盤作業部会『大学図書館の整備について (審議のまとめ) : 変革する大学にあって求められる大学図書館像』

3) 日本図書館情報学会用語辞典編集委員会編『図書館情報学用語辞典第4版』

4) <https://www.google.co.jp/intl/ja/about/company/philosophy/>

5) 科学技術・学術審議会学術分科会研究環境基盤部会学術情報基盤作業部会『学術情報基盤の今後の在り方について (報告)』

(日本文学科准教授)

日本女子大学図書館関係略年表（2004.4～2014.3）

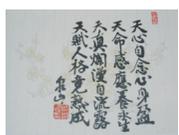
これまで、『日本女子大学図書館だより』No.50（1982.2.1発行）、No.90（1994.6.23発行）、No.121（2004.11.15発行）に、それぞれ略年表を掲載してきた。今回は目白キャンパスの図書館50周年の節目にあたり2004年4月以降10年分の年表を掲載する。

2004 (平成16) 年度	<p>4/1 新海邦治図書館長、上村美紗子事務部長。4/1 ILL 文献複写料金相殺サービス利用承認書受領。4/2 図書館全体会(以後10/23)。4/5 5階ビデオコーナー利用開始(目白)。4/24 オープンキャンパス図書館施設見学(目白)。 5/13 図書館運営委員会(以後7/2, 12/16, 2/10)。5/17 資料検索講習会(西生田6/4迄)。5/19 図書館友の会第39回総会出席。6/7 玄関ホール展示「19世紀イギリスの絵本—本学所蔵コレクションより」(児童学科百々佑利子先生企画, 目白7/24迄)。6/23 「平成15年度図書館年次報告」発行。6/26 オープンキャンパス図書館施設見学(目白)。7/6 上代タノ平和文庫運営委員会出席(以後11/9, 3/1)。7/25 オープンキャンパス図書館施設見学(西生田)。 7/31 オープンキャンパス図書館施設見学(目白)。8/2 蔵書点検(西生田 8/9迄)。8/9 玄関ホール展示「子どもと絵本を楽しむための図書ガイド」(児童学科百々佑利子先生企画, 目白11/30迄)。8/14 目白・西生田間ネットワーク増進切替工事。8/27 西生田学生自治会要望書への回答を提出。9/25 オープンキャンパス図書館施設見学(目白)。10/9 台風のため開館時間短縮(西生田17時を12時に変更)。10/18 史学科所属図書蔵書点検(10/29迄)。 10/20 台風のため開館時間短縮(西生田17時20分を17時に変更)。11/13 私立大学図書館協会東地区部会研究部分類研究分科会設立50周年シンポジウム開催。11/15 図書館だより第121号発行(図書館40周年記念)。11/17 4階、5階書架耐震補強工事(目白11/18迄)。11/25 入館ゲート案内用掲示板2台設置(目白)。11/29 SciFinder Scholar 説明会(目白, 以後12/2)。1/6 玄関ホール展示「ニュージーランドの絵本と児童文学」(児童学科百々佑利子先生企画, 目白6/30迄)。1/24 学生自治会要望書への回答を提出(目白・西生田) 1/28 5階多目的室にスタッキングチェア25脚設置。2/17 CSA Biological Sciences Database 説明会(目白, 以後2/24)。3/1 蔵書点検(目白3/12迄)。3/7 1階電灯取替工事(目白)。3/9 4階、5階電灯増設工事(目白3/11迄)。3/16 1階 AV コーナーへ情報コンセント等設置工事(西生田)。</p>
2005 (平成17) 年度	<p>4/1 新海邦治図書館長、上村美紗子事務部長。4/1 図書館全体会(以後, 3/17)。4/14 CiNii の IP 認証登録手続き完了。4/18 コンピュータセンター貸与ノート PC 用情報コンセント等利用開始(西生田)。5/16 資料検索講習会(西生田6/3迄)。5/16 リサイクルコーナー第1回実施(西生田)。5/17 図書館友の会第40回総会出席。6/1 エルゼビア説明会(Science Direct, Scopus)(目白)。6/2 図書館運営委員会(以後10/13, 12/15, 1/30)。6/4 玄関ホール展示「書くこと—日本女子大学所蔵資料による(全国国語国文学会開催)」(日本文学科企画)。6/20 ProQuest 説明会(西生田)。6/23 「平成16年度図書館年次報告」発行。6/23 国立情報学研究所学術コンテンツポータル利用申請書を提出。6/23 オープンキャンパス図書館施設見学(目白)。7/6 上代タノ平和文庫運営委員会出席。7/26 台風のため開館時間短縮(目白20時, 西生田19時を15時に変更)。7/26 マイクロキャビネット納品(西生田)。7/29 4階閲覧室に情報コンセント設置工事(目白)。7/29 オープンキャンパス図書館施設見学(目白)。 7/31 オープンキャンパス図書館施設見学(西生田)。8/1 4階閲覧室でコンピュータセンター貸与ノート PC 運用開始(目白)。8/8 玄関ホール展示「オーストラリアの絵本と児童文学」(児童学科百々佑利子先生企画, 目白2/10迄)。8/26 3階床に漏水発生(西生田)。9/6 1階床に漏水発生(西生田)。9/12 5階多目的室 LAN 環境設定(目白)。9/24 オープンキャンパス図書館施設見学(目白)。10/4 学生自治会要望書への回答を提出(目白・西生田)。10/7 日本文学科所属図書蔵書点検(10/19迄)。1/5 利用者向け意見箱を館内に設置。1/13 目白学生自治会要望書への回答を提出。1/26 6階貴重書室に書架2連・キャビネット10台設置(目白)。2/21 蔵書点検(西生田2/27迄)。2/27 カラー複写機更新(西生田)。3/1 蔵書点検(目白3/9迄)。</p>
2006 (平成18) 年度	<p>4/1 西山力也図書館長(事務部長兼務)。4/22 オープンキャンパス図書館施設見学(目白)。5/10 玄関ホールにて漏水発生(西生田)。5/22 資料検索講習会開始(西生田6/23迄)。5/17 図書館友の会第41回総会出席。6/5 5階カラー複写機更新(目白)。6/8 図書館棟空調設備交換(目白)。6/8 図書館運営委員会(以後10/26, 12/21, 1/26)。6/9 1階閲覧室南側窓際漏水発生(目白, 以後6/16, 7/5)。6/12 玄関ホール展示用ケース納品(西生田)。 6/24 オープンキャンパス「模擬講義デー」図書館ブラウジングコーナー見学。7/5 上代タノ平和文庫運営委員会第1回出席(以後11/1, 3/6)。7/18 1階閲覧室南西柱付近漏水発生(目白)。7/28 オープンキャンパス図書館施設見学(目白)。7/30 オープンキャンパス図書館施設見学(西生田)。8/4 1階閲覧室南西角寄り窓際で漏水発生(以後8/9, 8/12, 8/15, 8/16)。8/12 1階元学習室入口ホールで漏水発生(以後8/12, 12/26, 3/27目白)。9/23 オープンキャンパス図書館施設見学(目白)。9/25 図書館利用者アンケート(学部学生向け)調査(10/17迄)。 10/5 「平成17年度図書館年次報告」発行。10/10 英文学科所属図書蔵書点検(10/16迄)。10/17 目白学生自治会要望書への回答を提出。11/1 図書館利用者アンケート(大学院生・教職員向け)調査(11/24迄)。12/7 サイエンスダイレクト教員向け利用講習会(目白)。12/14 サイエンスダイレクト教員向け利用講習会(西生田)。1/10 5階男性用トイレ窓上で漏水発生(目白)(以後, 3/13)。1/10 1階雑誌書架状況調査(西生田1/15迄)。2/13 西生田学生自治会要望書への回答を提出。2/20 蔵書点検(西生田2/27迄)。3/1 蔵書点検(目白3/9迄)。3/10 給水系揚水ポンプ交換(目白3/11迄)。</p>
2007 (平成19) 年度	<p>4/1 西山力也図書館長(事務部長兼務)。4/1 オープンキャンパス図書館施設見学(目白)。4/3 図書館全体会(以後3/19)。 4/4 1階元学習室入口ホールに浸水、排水作業(目白)。4/4 玄関ホール展示「カンタベリー物語 エルズミア写本(ファクシミリ版)」(西生田6/19迄)。4/9 1階元学習室入口ホールに浸水(目白)。5/16 図書館友</p>

2007 (平成19) 年度	<p>の会第42回総会出席。5/28 資料検索講習会(西生田7/10迄)。5/31 図書館運営委員会(以後11/8, 12/20, 1/25)。6/24 オープンキャンパス「模擬講義デー」図書館ブラウジングコーナー見学(目白)。6/28 ProQuest 講習会初級コース, 中級コース実施(目白)。7/5 上代タノ平和文庫運営委員会第1回出席(以後11/7, 3/3)。7/25「平成18年度図書館年次報告」発行。7/27 オープンキャンパス図書館施設見学(目白)。7/27 平成18年度実施図書館アンケート結果に基づく改善報告をホームページに掲載(以後, 随時更新)。7/29 オープンキャンパス図書館施設見学(西生田)。8/1 キャンパス見学ウィーク図書館施設見学(目白8/7迄, 西生田8/3迄)。8/25 1階, 3階, 5階書架増設工事(西生田8/26迄)。8/27 目白図書館2階～4階へのかばん類持ち込み自由化のため, 2階ロッカー室から1階, 5階へロッカーを移設, 1階新刊雑誌棚を移動。8/27 メディアセンターPC用LAN配線工事(以後8/28, 9/3)。9/3 台風により4階, 5階の東側, 4階男子トイレ, 4階女子トイレに浸水, 洋書47冊が水濡れ被害(目白)。9/20 図書館ホームページリニューアル。9/22 オープンキャンパス図書館施設見学(目白)。9/25 リカレント教育受講生の図書館利用開始。10/15 児童学科所属図書館書点検(10/19迄)。10/23 目白図書館2階～4階へのかばん類持ち込み自由化開始。10/23「学生が読みたい本」募集開始(11/10迄)。12/6 カウンセリングセンター(目白)所属図書館書点検実施。12/25 マイクロフィルムキャビネット1台を1階新聞室に設置(目白)。2/20 蔵書点検(西生田2/27迄)。3/3 蔵書点検(目白3/12迄)。3/5 利用者用, 事務用複写機更新(西生田)。3/12 メディアセンターPC用ネットワーク設定工事(西生田)。3/29 図書館入口段差解消リフト設置に伴う付帯工事開始(目白)。3/30 オープンキャンパス図書館施設見学(目白)。</p>
2008 (平成20) 年度	<p>4/1 田中功図書館長(事務部長兼務)。4/1 学内便, 週5便に増便。4/3 玄関ホール展示「絵巻でお花見」(西生田5/17迄)。4/3 4階グループ研究室でのメディアセンター貸出PC, LAN接続利用開始(西生田)。4/30「新着図書のお知らせ」ポスターを学科研究室に配布開始(西生田。目白は5/20より)。5/7 メディアセンター管理PC運用開始。5/12「学生が読みたい本」前期募集開始(5/24迄)。5/13 マイクロフィルムキャビネット1台を1階新聞室に設置(目白)。5/19 1階FAX機交換(目白)。5/21 図書館友の会第43回総会出席。5/27 資料検索講習会(西生田7/9迄)。6/4 図書館運営委員会(以後10/22, 11/18, 12/10)。6/10 玄関ホール展示「創立者成瀬仁蔵先生 主要著作・参考文献—日本女子大学学園事典より—」(8/29迄)。6/15 オープンキャンパス図書館施設見学(目白)。6/16 資料の探し方講習会(目白7/18迄)。6/23 1階北西側板廊で漏水(目白)。7/2 上代タノ平和文庫運営委員会第1回出席(以後11/5, 3/3)。7/15「平成19年度図書館年次報告」発行。7/28 図書館入口段差解消リフト運用開始(目白)。7/29 休暇中の開館時間を延長(目白:夏季・冬季, 西生田:夏季・冬季・春季)。8/1 2階ロッカー室レイアウト変更(目白)。8/2 オープンキャンパス図書館施設見学(西生田)。8/3 オープンキャンパス図書館施設見学(目白)。8/4 2階ロッカー室を飲み物を飲めるスペースとして運用開始(目白)。8/4 カウンセリングセンター(西生田)所属図書館書点検実施(8/6迄)。8/5 1階トイレに浸水(目白)。8/6 2階参考図書コーナーで漏水(目白)。8/8 キャンパス見学会図書館施設見学(8/10迄)。9/23 オープンキャンパス図書館施設見学(目白)。9/25 大学院生の図書貸出冊数上限を10冊から20冊に変更。9/25 西生田学生自治会要望への回答を提出。10/1 パソコンからの利用状況照会, 運用開始。10/6 玄関ホール展示「源氏物語千年紀によせて—国宝源氏物語絵巻復元図展—」(日本文学科後藤祥子先生企画, 目白12/2迄)。10/20「学生が読みたい本」後期募集開始(10/31迄)。10/21 家政経済学科研究室所属図書館書点検(10/24迄)。11/17 4階共同研究室でのメディアセンター貸出PC, LAN接続利用開始(目白)。1/8 利用案内英語版新規作成(目白, 西生田1/23)。1/10 玄関ホール展示「21世紀のノーベル文学賞受賞者著作」(西生田2/18迄)。1/28 玄関ホール展示「春です! 旅しませんか? —図書館で旅の魅力をまるかじり—」(目白5/16迄)。2/5 2階, 3階トイレ改修工事(目白)。2/9 1階新聞室に浸水(目白)。2/19 蔵書点検(西生田2/26迄)。2/23 2階ロッカー室改装工事(目白)。3/2 蔵書点検(目白3/11迄)。3/25 図書館全体会。3/29 オープンキャンパス図書館施設見学(目白)。</p>
2009 (平成21) 年度	<p>4/1 蟻川芳子学長・理事長就任。4/1 田中功図書館長(事務部長兼務)。4/1現代女性とキャリア連携専攻委員会推薦図書リストを図書館ホームページに新規掲載。4/2 玄関ホール展示「西生田の森へようこそ」(西生田5/30迄)。4/3「共同研究室」の名称を「グループ研究室」に変更(目白)。4/6 リンクリゾルパ SFX ASP サービス運用開始。4/20 資料の探し方講習会:入門編(目白5/16迄)。4/22 次期図書館システムデモンストレーション開始(6社7/15迄)。5/11 パソコンからの貸出延長・予約, 運用開始。5/11「学生が読みたい本」前期募集開始(5/20迄)。5/18 資料の探し方講習会:初級編(目白6/19迄)。5/18 住居学科研究室所属図書館書点検(5/26迄)。5/20 図書館友の会第44回総会出席。6/1 資料検索講習会(西生田7/8迄)。6/4 図書館運営委員会(以後10/22, 11/18, 12/10)。6/14 オープンキャンパス図書館施設見学(目白)。6/23「平成20年度図書館年次報告」発行。7/1 上代タノ平和文庫運営委員会第1回出席(以後11/4, 3/3)。7/2 ブラウジングコーナー周辺のレイアウトを変更(目白)。8/1 オープンキャンパス図書館施設見学(目白)。8/2 オープンキャンパス図書館施設見学(西生田)。8/8 キャンパス見学会(8/9迄)。8/10 ロッカー室漏水, 天井板剥落。1階AVブース, 女子トイレにも漏水(目白)。9/16 ロッカー室補修工事(目白9/24迄)。9/23 オープンキャンパス図書館施設見学(目白)。10/1 松井正子事務部長。10/1 丸善株式会社による閲覧カウンター業務委託開始。10/8 台風18号接近による全日休講のため臨時閉館。10/17 図書館全体会(以後3/13)。10/26 被服学科研究室所属図書館書点検(10/29迄)。11/1 学習院大学図書館との相互利用協定施行(10/21調印, 11/2運用開始)。11/4「学生が読みたい本」後期募集開始(11/13迄)。11/9 図書館ホームページに「図書館概要」を掲載開始。11/18 文献検索データベースガイダンス(目白, 以後11/19)。11/19 ロッカー室に机, 椅子を設置(目白)。11/24 食物学科研究室所属図書館書点検(11/27迄)。12/12 玄関ホール展示「図書館で Christmas 2009!」(目白12/25迄)。12/12 入試相談会図書館施設見学(目白)。1/5 5階空調機の配管破損のため, 4階天井より漏水。5階暖房停止(目白)。1/18 泉会貴重資料購入援助費による購入資料『The works of Geoffrey Chaucer』(ケルムスコット版チャウサー作品集)納品(目白)。1/29 中庭工事のため, 図書館正面入口封鎖(西生田)。2/5 1階, 4階トイレ改修工事。4階に車いす対応トイレを</p>

2009 (平成21) 年度	<p>新設(目白)。2/19 SciFinder (Academic) 講習会(目白)。2/19 蔵書点検(西生田2/26迄)。3/1 蔵書点検(目白3/10迄)。3/11 新図書館システム業者選定委員会。3/17 図書館ホームページのトップ画面デザインを学園 VI 方針に沿って変更。3/25 玄関ホール展示「花の宴—春を愛で—」(目白5/22迄)。3/28 オープンキャンパス図書館施設見学(目白)。</p>
2010 (平成22) 年度	<p>4/1 島崎恒蔵図書館長, 中曽根緑事務部長。4/1 学習院大学図書館との相互利用協定に学習院大学法学部・経済学部図書センターが参加。4/1 玄関ホール展示「花の宴—春を愛で—」(目白5/22迄)。4/2 玄関ホール展示「祝! 人間社会学部開設20周年記念 開設の頃をふり返る その1」(西生田5/31迄)。4/7 常任理事会にて新図書館システム業者の決定報告。4/8 開館時間延長開始(目白20時→21時, 西生田19時→20時)。4/12「教養特別講義1 関係図書リスト」を図書館ホームページに掲載。4/14 複写申請書設置開始(目白)。4/19 図書館ホームページ活用方法—資料の探し方:入門編—(目白5/15迄)。4/21 4階トイレ前天井から漏水(目白)。5/10 数物科学科数学研究室所属図書蔵書点検開始(目白5/14迄)。5/10「学生が読みたい本」前期募集開始(5/19迄)。5/15 玄関ホール特別展示「ケルムスコット・プレス版『チョーサー作品集』」(目白)。5/19 図書館友の会第45回総会出席。5/24 資料の探し方講習会—蔵書検索編—(目白6/26迄)。5/24 図書館正面入口付近工事完了, 正面入口利用再開(西生田)。5/27 図書館運営委員会(以後10/28, 11/16, 12/2)。6/1 資料検索講習会(西生田7/21迄)。6/7 数物科学科物理研究室所属図書蔵書点検開始(目白6/11迄)。6/8 学生サービスギャラリにて新刊ポスター掲示(目白6/21迄)。6/10 富士通図書館システム iLiswave-J V2 導入準備キックオフ会議を開催, システム導入マスタースケジュール及びプロジェクト体制を確認。6/10 ProQuest 講習会実施(目白, 以後6/25)。6/13 オープンキャンパス図書館施設見学(目白)。6/29 物質生物科学科生物研究室所属図書蔵書点検開始(目白7/5迄)。7/13 上代タノ平和文庫運営委員会第1回出席(以後11/2, 3/1)。7/15 物質生物科学科化学研究室所属図書蔵書点検開始(目白7/21迄)。7/20 4階北西角で漏水(目白)。7/30「平成21年度図書館年次報告」発行。7/31 玄関ホール常設展示「ケルムスコット・プレス版『チョーサー作品集』複製版」(目白)開始。7/31 玄関ホール展示「季節を楽しむ—夏・秋編—」(目白10/30迄)。7/31 オープンキャンパス図書館施設見学(目白)。8/1 オープンキャンパス図書館施設見学(西生田)。8/2 中庭渡り廊下工事開始, 図書館正面入口封鎖(西生田)。8/2 蔵書点検(西生田8/20迄)。8/7 オープンキャンパス図書館施設見学(西生田)。8/8 オープンキャンパス図書館施設見学(目白)。9/16 OPAC, 多目的室 PC 更新(目白)。9/17 部長室 PC 更新(目白)。9/18 ブックディテクションシステム更新(目白)。9/23 オープンキャンパス図書館施設見学(目白)。9/24 学生自治会要望書への回答を提出(目白)。10/17 ロールスクリーンを交換(西生田)。10/30 台風14号接近のため開館時間短縮(西生田18時を16時に変更)。11/1「学生が読みたい本」後期募集開始(11/11迄)。11/2 玄関ホール展示「ウィリアム・モリスと書物芸術」(英文学科川端康雄先生企画, 目白11/30迄)。11/4 玄関ホール特別展示「ケルムスコット・プレス版『チョーサー作品集』」(目白11/6迄)。11/15 図書館だより第139号発行「西生田図書館開館20周年記念特集号」。11/17 常任理事会にて新図書館システム導入作業の中間報告。12/8 3階, 4階天井より大規模な漏水(目白, 以後12/9, 12/10, 12/11)。12/11 玄関ホール展示「図書館で Christmas 2010!」(目白12/25迄)。1/12 玄関ホール展示「人間社会学部開設20周年記念—開設の頃を振り返る—その2」(西生田3/25迄)。1/26 5階多目的室 LAN 配線工事(目白, 以後1/28)。1/31 蔵書点検(目白2/9迄)。3/8 SciFinder 講習会(目白)。3/11 東日本大震災発生 目白・西生田共に建物構造本体には被害なし, 図書の約1/3が書架から床に落下, 一部破損。利用者に人的被害なし。3/14 安全確認および資料等復旧作業のため臨時閉館(目白3/16迄, 西生田3/22迄)以後, 4/23まで一部フロアの利用制限, 開館時間短縮, 相互利用制限等を実施。3/17 限定開館開始(目白3/25迄)。3/19 2階参考書架の西側部分床固定(目白)。3/23 限定開館開始(西生田3/25迄)。3/26 蛍光灯を省エネタイプに交換(目白, 以後3/28, 3/29)。3/31 富士通図書館システムへ移行作業終了。</p>
2011 (平成23) 年度	<p>4/1 島崎恒蔵図書館長, 中曽根緑事務部長。4/1 富士通 iLiswave-J V2 運用開始, 携帯サイトでのサービス開始。4/4 利用者用ポータルサイト My JWULIS 運用開始。4/25 震災による夜間開館時間短縮(5/7迄)。5/24 図書館友の会第46回総会出席。6/1「学生が読みたい本」前期募集開始(6/8迄)。6/9 図書館運営委員会(以後7/28, 10/27, 12/8)。6/9 図書委員会(以後10/27)。6/10 玄関ホール展示「図書館を探検しよう!」(目白10/14迄)。6/12 オープンキャンパス図書館施設見学(目白)。6/15 通信大学院生への図書宅配貸出試行開始(目白)。6/27 資料検索講習会実施(西生田7/29迄)。6/30「平成22年度図書館年次報告」発行。7/2 夏季節電対策のため5階閉室(目白9/30迄)。7/12 上代タノ平和文庫運営委員会第1回出席(以後11/1, 3/6)。8/6 オープンキャンパス図書館施設見学(西生田)。8/7 オープンキャンパス図書館施設見学(目白)。9/1 図書館棟屋根塗装(目白9/19迄)。9/19 オープンキャンパス図書館施設見学(目白)。9/21 台風15号接近に伴う休講(3時限目以降)のため開館時間短縮(目白20時, 西生田19時を13時30分に変更)。10/3 日本語教員養成講座所属図書蔵書点検開始(目白10/6迄)。10/3 正面玄関屋根防水補修工事(目白)。10/3 資料検索講習会(西生田10/28迄)。10/17 資料の探し方講習会(蔵書検索編)(目白11/30迄)。10/25 玄関ホール展示「上代タノ平和文庫創設40周年記念展」(目白12/16迄)。11/1「学生が読みたい本」後期募集開始(11/8迄)。11/1 お茶の水女子大学附属図書館との相互利用協定施行(調印10/21)。11/10 各学科による専門分野図書所蔵状況調査(11/30迄)。11/16 玄関ホール特別展示「ケルムスコット・プレス版『チョーサー作品集』」(目白11/18迄)。1/20 1階, 4階北西角の柱付近で漏水(目白)。2/13 玄関ホール展示「図書館を探検しよう! 2012」(目白5/30迄)。2/13 玄関ホール展示「上代タノ平和文庫創設40周年記念展」(西生田5/31迄)。2/20 蔵書点検(西生田2/24迄)。3/1 蔵書点検(目白3/7迄)。3/10 図書館全体会。3/28 入館管理システム更新(西生田, 目白3/30)。3/31 オープンキャンパス図書館施設見学(目白)。</p>
2012 (平成24) 年度	<p>4/1 島崎恒蔵図書館長, 中曽根緑事務部長。4/3 悪天候のため開館時間短縮(西生田18時を13時30分に変更)。4/4 新入館管理システム始動。4/5 第1回館内スタンプラリー開始(目白4/28迄)。5/7 資料の探し方講習会 蔵書検索編(目白6/30迄)。5/8「学生が読みたい本」前期募集開始(5/15迄)。5/10 4階北西柱内で漏水(目白)。</p>

<p>2012 (平成24) 年度</p>	<p>5/12 玄関ホール特別展示「ケルムスコット・プレス版『チョーサー作品集』」(目白)。5/21 資料検索講習会(西生田7/13迄)。5/23 国立国会図書館によりデジタル化された博士論文を図書館ホームページに掲載。5/29 図書館友の会第47回総会出席。5/31 図書館運営委員会(以後7/5、10/25、12/10)。6/7 玄関ホール展示「バーン＝ジョーンズの芸術」(英文学科川端康雄先生企画、目白7/12迄)。6/10 オープンキャンパス図書館施設見学(目白)。6/14 玄関ホール特別展示「ケルムスコット・プレス版『チョーサー作品集』」(目白6/16迄)。6/18 留学生科目所属図書蔵書点検(目白6/21迄)。6/19 台風4号接近のため開館時間短縮(目白21時を20時、西生田20時を19時に変更)。6/30「平成23年度図書館年次報告」発行。7/2 夏期節電対策のため5階閉室開始(目白9/28迄)。7/3 上代タノ平和文庫運営委員会第1回出席(以後11/6、3/6)。7/5 5階空調機修理(目白)。8/4 オープンキャンパス図書館施設見学(目白)。8/5 オープンキャンパス図書館施設見学(西生田)。9/17 オープンキャンパス図書館施設見学(目白)。9/19 利用者用カラー複写機更新、料金改定。9/25 4階グループ研究室、5階多目的室で漏水発生(目白)。10/15 史学独仏中所属図書蔵書点検(目白10/22迄)。10/20 図書館全体会。11/1「学生が読みたい本」後期募集開始(11/8迄)。11/6 4階北西角のキャレル付近で天井より漏水(目白)。11/8 平成24年度各学科による専門分野図書所蔵状況調査(11/28迄)。11/14 玄関ホール特別展示「ケルムスコット・プレス版『チョーサー作品集』」(目白11/16迄)。11/21 常任理事会にて国立情報学研究所共用リポジトリサービス利用申請について承認。11/30 泉会貴重資料購入援助費による購入資料「源氏物語」納品(目白)。12/2 iLiswave-J V2 SP11本番適用。12/3 玄関ホール展示「図書館でChristmas 2012！」(目白12/25迄)。12/5 常任理事会にて学園関係者の大学図書館利用ならびに地域開放の開始について承認。12/20 国立情報学研究所に共用リポジトリ(JAIRO Cloud) 利用申請書を提出(12/28利用承認)。2/7 共用リポジトリの環境設定終了。2/12 玄関ホール展示「学生が薦める上代タノ平和文庫の1冊」(目白3/29迄)。2/19 蔵書点検(西生田2/25迄)。2/28 東京都文京区と「日本女子大学図書館(目白キャンパス)の文京区民への開放に関する覚書」を交換。3/7 蔵書点検(目白3/13迄)。3/13 1階、2階、5階の利用者用複写機更新(目白)。3/29 マイクロリター・プリンタ更新(西生田)。3/30 オープンキャンパス図書館施設見学(目白)。</p>
<p>2013 (平成25) 年度</p>	<p>4/1 佐藤和人学長・理事長就任。4/1 島崎恒蔵図書館長、中曽根緑事務部長。4/2 学園関係者の閲覧利用開始(附属中高生、附属校園在学・在園者の保護者、泉会会員。7月開始:目白会会員)。4/3 文京区民(18歳以上・女性)の閲覧利用開始(目白)。4/4 第2回館内スタンプラリー開始(目白4/30迄)。4/4 玄関ホール展示「図書館を探検しよう! 2013」(目白4月、7~11月、1~3月)。4/6 悪天候のため開館時間短縮(18時を目白16時30分、西生田15時に変更)。4/22 資料の探し方講習会 蔵書検索編(目白6/28迄)。5/8「学生が読みたい本」前期募集開始(5/15迄)。5/11 玄関ホール特別展示「貴重書『源氏物語』」(目白)。5/13 資料検索講習会(西生田7/12迄)。5/15 玄関ホール展示「学生が薦める上代タノ平和文庫の1冊 2013」(目白7/10迄)。5/28 図書館友の会第48回(最終)総会出席(図書館友の会は平成25年3月末に閉会)。5/30 図書館運営委員会(以後7/25、10/24、12/16)。5/30 図書委員会(以後7/25)。6/3 史学科所属図書蔵書点検開始(目白6/11迄)。6/4 川崎市多摩区と「日本女子大学西生田図書館の川崎市多摩区民の利用に関する覚書」を交換。6/10 川崎市多摩区民(18歳以上・女性)の閲覧利用開始(西生田)。6/16 オープンキャンパス図書館施設見学(目白)。6/26「平成24年度図書館年次報告」発行。6/29「田中功先生を偲ぶ会」開催(於:目白キャンパス・新泉山館大会議室)日本文学科と共催。7/1 夏期節電対策のため5階閉室開始(目白9/20迄)。7/10 常任理事会にてWeb版利用者アンケート「LibQUAL⁺」実施について報告。8/3 オープンキャンパス図書館施設見学(目白)。8/4 オープンキャンパス図書館施設見学(西生田)。8/9 冷房機故障、復旧作業実施(目白8/10まで)。8/16 4階漏水(目白)。8/30 4階、5階漏水(目白)。9/3 1階6連複式書架1本増設(西生田)。9/16 オープンキャンパス(目白)悪天候のため中止。10/1「日本女子大学学術情報リポジトリ」試験公開(学内のみから閲覧可)開始。10/14 資料の探し方講習会 蔵書検索編(目白11/15迄)。10/15 英文学科所属図書蔵書点検開始(目白10/25迄)。10/16 台風26号接近に伴う全日休講のため臨時閉館。10/22 Web版利用者アンケート「LibQUAL⁺」回答開始(11/28迄)。10/28 図書資料廃棄要綱細則改正(以後、1/27)。11/1 跡見学園女子大学図書館との相互利用協定施行(調印10/28)。11/1「学生が読みたい本」後期募集開始(11/8迄)。11/8 平成25年度各学科による専門分野図書所蔵状況調査開始(11/28迄)。11/17 iLiswave-J V2 SP12本番適用。11/27 玄関ホール特別展示「貴重書『源氏物語』」(目白11/30迄)。12/6 上代タノ平和文庫の説明プレート及び上代タノ先生の写真額を5階壁面に取り付け(目白)。12/7 玄関ホール展示「図書館でChristmas 2013！」(目白12/25迄)。1/30 Web版利用者アンケート「LibQUAL⁺」結果報告(概要)を図書館ホームページに掲載。2/8 大雪に伴う全日休校のため臨時閉館(目白)。2/10 ボイラー故障改修工事、終日暖房停止(目白)。2/14 大雪のため開館時間短縮(西生田18時を17時30分に変更)。2/18 理事会にて組織規程改正決定(平成26年度より情報受入課、情報サービス課は図書館課に統合)。2/19 蔵書点検(西生田2/25迄)。2/21 図書資料廃棄要綱改正。3/3 利用者用パソコン更新(西生田、3/5より運用開始)。3/6 利用者用パソコン更新(目白、3/13より運用開始)。3/6 中央階段塗装工事(目白3/12迄)。3/6 蔵書点検(目白3/12迄)。3/15 図書館全体会。3/29 オープンキャンパス図書館施設見学(目白)。3/31 利用者アンケート「LibQUAL⁺」結果報告(詳細)を図書館ホームページに掲載。</p>



巻頭写真: No.132, No.135, No.136, No.140, No.141, No.147

統計で見る図書館サービスの歩み：開館50年目を迎えて

今年日本女子大学図書館は開館50年目を迎えた。そして西生田図書館は25年目を迎えた。50年の歴史の中で大きな動きとして、西生田図書館開館はもちろんのこと、それにあわせて、図書館業務システムが導入されたことがある。システム導入以降、図書館の内部でなされる様々な処理が効率的に行われるようになり、また、利用サービス面では、情報管理が多面的かつ効果的におこなわれるようになった。

開館40年目を迎えた10年前には、図書館サービスを利用統計の数値の動きから分析をおこなった。この頁では、その後の10年を追跡するものである。ただし、前回の分析との連続性のために2013年度の数値をグラフに入れている。

その間図書館ではいくつかの変化があった。この変化は、図書館業務を効率的に遂行するためには大きな変化である。もちろん対利用者サービスの質的な向上を目指したものであり、資料提供の機会を増やすことにもつながっている。今回の分析では、それらの変化が図書館サービスにどのような影響をもたらしているかも含めて、見ていくこととする。

1. 40年目以降の変化

1.1 開館時間の延長

2010年4月より、目白では通常期9:00~20:00だった開館時間を8:45~21:00に、西生田では9:10~19:00を9:00~20:00に拡大した。

これに先立ち、目白・西生田双方の図書館では、閲覧カウンター業務の本格的な外部業者委託を2009年10月より開始している。以降、貸出カウンターを中心とした利用者対応が委託業者によりなされることになる。ただし、参考カウンターでの利用者対応は図書館専任職員が担当している。

1.2 図書館システムの変更

図書館業務システムを2011年4月に更新した。これにより、具体的には図書館の蔵書利用の入口となるOPACの利便性が向上し、My JWULIS 経由で可能なサービスも増えている。もちろん、業務効率のさらなる効率化にも寄与している。

1.3 利用者アンケート実施

2006年度には、利用者の図書館に対する要望を把握するため、全学の学生、教職員を対象としたアンケートを実施した。質問項目は本学図書館が独自に作成したものである。寄せられた要望に基づき、目白図書館へのバッグ類持ち込みを可としたり、「学生が読みたい本」を開始したりといった具体的な改善を行い、その経過を図書館HPでも報告してきた。

更に、Web版利用者アンケート「LibQUAL⁺®」（ライブカル）を2013年10月下旬から1ヶ月実施した。これは図書館サービスの品質評価を測定するためのもので、具体的な図書館への要望や満足度などおよそ40項目についてのアンケートである。回答には10分程度かかる。これは国際的に利用されている米国研究図書館協会（Association of Research Libraries, ARL）によるLibQUAL⁺®プログラムに沿ったものである。参加図書館はほぼ世界全体にわたり、国際的な比較も可能となる。寄せられた回答をもとに図書館サービスの向上に向けてさらなる取り組みを始めている。

1.4 図書館相互利用協定

学習院大学（2009年11月から）・お茶の水女子大学（2011年11月から）・跡見学園女子大学（2013年11月から）と3校と協定を結び附属図書館を相互に利用できるようになった。利用者にとっては

実質的に利用できる蔵書が大きく増えたと言っていることができるだろう。

2. 入館者数

最初に入館者数の変化について見ていく。10年前から徐々に入館者数は減少しつつあるものの、最近5年を見ると、目白では10万人強で、西生田では5万人前後で、ほぼ一定した数で推移しているようだ。この期間に、施設面では特に利用者を惹きつけるような大きな変化はなかったことからすると、利用者が抱く図書館の位置づけがある程度の定着を見せているということができているのではないだろうか。



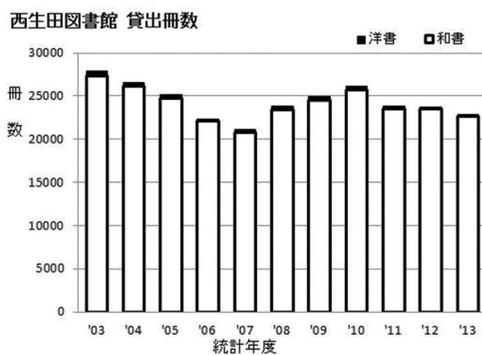
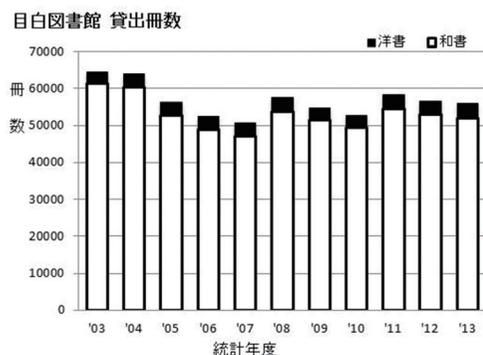
復調傾向が続いた中、東日本大震災の発生とその後の交通機関の混乱、学事日程の変更等が影響してか、入館者数が落ち込んだのは残念であった。

3. 図書の貸出および移送統計

前節では人の動きを入館者数から見たものであった。ここでは、目白・西生田両館における図書の貸出冊数、および目白・西生田両館の間での資料の移送数と、2つの視点から捉えてみる。

3.1 図書の貸出冊数の推移

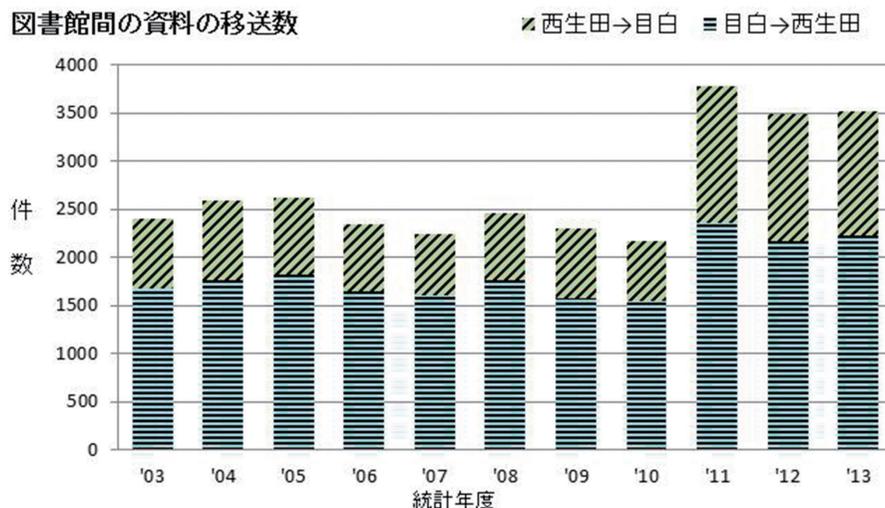
図書館サービスの大きな柱である図書の貸出を統計的に捉えてみる。グラフは、目白・西生田それぞれにおける和書と洋書の貸出冊数である。



10年前の記事でも述べたように、図書館の収容能力は既に限界に達し、ある基準を設けてそれに基づき一定数の管理を業者に委託している。それらの資料ももちろん図書館に並んでいる資料と同じように利用可能である。和書・洋書の割合、全体的な数値、それぞれの変化には大きな増減がなく、ほぼ一定した値であると言える。

3.2 資料の移送数の推移

次に、目白・西生田の両図書館間での資料の移送数を見てみる。両キャンパスの図書館をあわせて附属図書館の機能としているため、キャンパスによる利用条件に区別はない。身近にある図書館の蔵書数には差があるが、2008年度から学内便がそれまでの週3便から週5便に増便された。これにより、原則として平日には両キャンパス間の相互移送が設定され、どちらのキャンパスでも蔵書を利用しやすい環境が実現した。

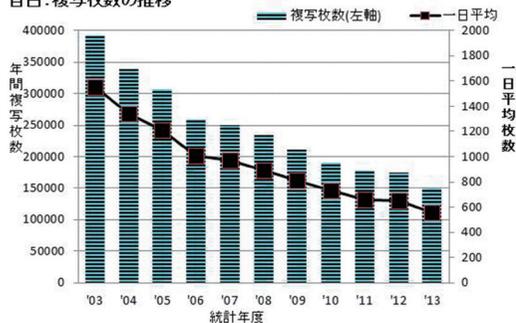


グラフからは、移送数が大きく増加した時期が図書館システム変更のタイミングとあっていることが見て取れる。My JWULIS から資料取り寄せを申し込めるといった簡便性が増したことによるところが大きいと思われる。

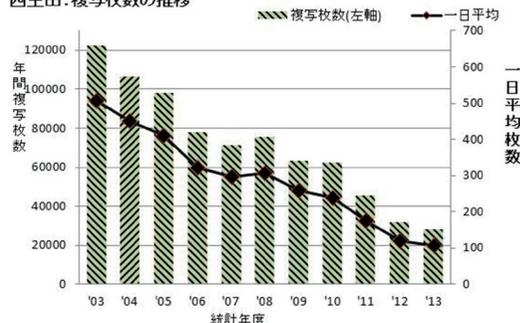
4. 複写枚数の統計

次に図書館内における複写枚数の推移を見てみる。実はグラフ左端の年度の前から複写枚数は減少傾向にあった。それ以降減少が続いている。図書館内での複写はその蔵書に限られ、実際には貸出ができない資料が複写されることが多い。昨今では、オンライン環境における学術資料の公開が進み、データベース上で、あるいは大学機関リポジトリでの公開により、資料へのアプローチは多岐にわたる。資料の複写がそれにとって代わられていることが推測される。加えて、紙での出力からファイルとして保存する方法も定着していることも、複写枚数の減少につながっているようである。

目白:複写枚数の推移



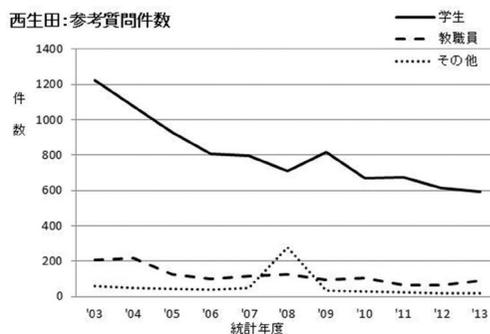
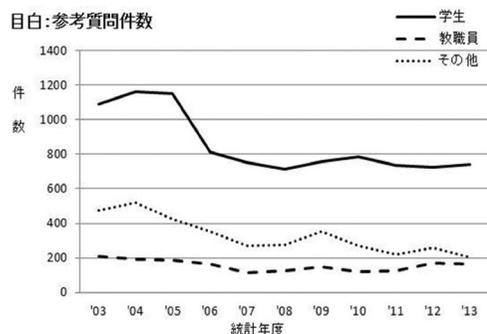
西生田:複写枚数の推移



5. 参考業務

5.1. 参考質問

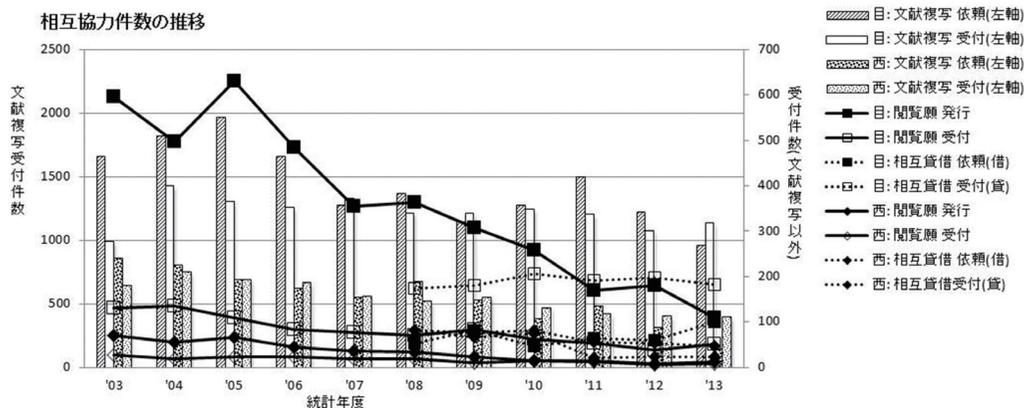
ここまで、蔵書へのアプローチや入手に関連するサービスに関する統計を見てきた。一方図書館利用者を様々な資料内容へと導くものが参考業務と言える。ここでは、量的な把握として質問件数を提示する。



統計では利用者を、学生、教職員、その他と3つに分けてグラフ化した。左端の年度より以前から減少傾向は続いていたが、ここ数年ではある一定数で推移するようになったと言える。

5.2 相互協力

ここで言う「相互協力」とは、他の大学機関などと主に資料のやりとりを中心としたサービスである。文献複写項目の全般、閲覧願の取扱件数が減少傾向にある。それ以外の数値は一定数で推移している。



4節で述べた学術資料の公開と利用者のアプローチの多様化から減少傾向の原因は推察できる。情報の概要と所在を利用者自身でとらえることができるようになったとも言えよう。他大学図書館等と図書の出貸・借受が一定数で推移しているのはそのためだと推測される。

6. まとめ

この10年で日本女子大学図書館を取り巻く環境には様々な変化があったと言える。オンライン環境および図書館業務システム化の次に、図書館の外部機関とのつながりを基にした利用サービスの展開の期間であったようだ。

(図書館だより編集委員会)

平成26年度夏期スクーリング開館について

今年度よりスクーリング登録が廃止され、通信生は年間を通じて1枚のカードで利用できるようになりました。これに伴い、正科生はJASMINEアカウントで夏期スクーリング期間中もMy JWULISへログインし貸出更新（1回のみ）と予約ができるようになりました。普段から図書館を利用している通信生の皆さんにとっては夏期スクーリング期の煩わしさがなくなりました。JASMINEアカウントとは、通信教育課程のインターネットを通じたシステム（通信教育課程@ Student Service）の利用に必要なアカウント（ユーザー名とパスワードの組み合わせ）と同じです。



スクーリング登録風景

貸出冊数も夏期スクーリング期間（準備期間含む）は一般図書5冊に加え、通信教育図書室（OPAC配置場所：図目通信）の図書2冊を借りることができるようになりました。通常期よりも2冊多く借りることができます。一般図書5冊は夏休み貸出（返却期限：9月下旬）で貸出、今年から期間内の借り換えができるようになりました。通信教育図書2冊は昨年と同様貸出期間は7日間ですが、予約がなければMy JWULISで貸出更新ができるようになりましたので、昨年よりも学習がしやすかったのではないのでしょうか。そのかわり、夏期スクーリング期間も通常期と同様に延滞罰則がつき、延滞中および返却後延滞した日数分貸出停止となりました。返却はゆうパック・宅配便など（発送控えの残る方法）でも受け付けておりますので、延滞しないようご注意願います。

また、2014年度4月より図書館内で水分補給できるようになりました。ペットボトルや水筒など

夏期スクーリング開館の利用状況

年度	H26	H25	H24
開館日数	24	24	24
入館者数	4,186	4,461	4,712
1日平均	174.5	185.9	196.4
最高	304	294	274
最低	121	128	146
受講者数	836	931	981
登録者数*	175	421	459
1日平均	7.3	17.6	19.2
貸出冊数	1,340	1,296	1,424
1人当たり	-	3.1	3.1
1日平均	55.9	54	60
最高	114	134	109
最低	25	20	28
貸出日数	24	24	24
複写枚数	9,003	9,971	11,147
1日平均	375.2	415.5	464.5
一般学生・教職員 その他の貸出	1,421	1,374	1,260
1日平均	59.2	57.3	52.5

完全に蓋が閉まる容器に入った飲み物に限り飲むことができます。夏の暑い中、少しでも学習が進むようになれば幸いです。水分補給は閲覧室で行い（PC周辺は厳禁）、飲んだ後は必ず、資料や周りを汚したりしないよう、すぐにバッグ等にしまうようお願いいたします。

（閲覧係 中澤啓子）

参考係利用状況（質問処理件数）

年度（日数）	H26 (24)	H25 (24)	H24 (24)
一般学生・教職員	48	37	36
スクーリング生・その他	16	30	41
合計	64	67	77
1日平均	2.7	2.8	3.2

*平成26年度より登録者数は夏期スクーリングで新規登録した通信生の数となり、既に登録している通信生のスクーリング受講者は含まない。

編集後記 2014年6月、目白キャンパスの図書館は開館50周年を迎えました。この節目の号に、佐藤学長より巻頭言をお寄せいただきました。また、図書館情報学がご専門の大谷先生からは、今後の大学図書館を考えるにあたって、現在の図書館が取り組むべき課題や動向をお示しいただきました。

一方で、前回40周年の特集号以降について、年表と統計で激動の10年をふりかえっています。さまざまな変化のあった10年間でした。この先の10年は、図書館にとってどのような年月となるのでしょうか。（浜口）